



<http://www.ebetsu-city.ed.jp/daisan-t/>

令和8年2月25日発行

— 校訓 —
敬愛 責任 勤労
 「勤労を貴び、責任ある行動をし、敬愛される人になろう」

— 学校教育目標 —
 ・意欲的に学習に向かい、粘り強く課題を追求する生徒
 ・自他を敬愛し、豊かな心をもつ生徒
 ・物事を正しく判断し、責任ある行動がとれる生徒
 ・働く喜びを感じ、心身ともに健康な生徒

保護者アンケート結果について

12月に、保護者の皆様にご協力いただいたアンケートの結果をお知らせします。回収率は69%でした。保護者の皆様のご意見や生徒のアンケート、教職員による自己評価を踏まえ、教育活動の見直しと改善に努め、また新年度の教育活動の検討を進めているところです。ご協力ありがとうございました。

○評価の集計結果 評価割合の「4:あてはまる」「3:ややあてはまる」の合計を「良傾向」として算出

| No. | 評価内容 | 評価割合 | | | | 良傾向 回答合計 |
|-----|--|-------|-------|-------|-------|-------------|
| | | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| 1 | お子さんは、将来の職業や自分の進路について、以前より考えるようになっている。 | 25.6% | 43.2% | 28.4% | 2.8% | 68.8% |
| 2 | お子さんは、予習や復習に取り組むなど、意欲的に授業に参加している様子がある。 | 20.6% | 40.0% | 32.0% | 7.4% | 60.6% |
| 3 | お子さんは家庭学習(塾などでの学習も含む)に積極的に取り組んでいる。 | 22.3% | 33.7% | 33.7% | 10.3% | 56.0% |
| 4 | AIドリルなどの学校の学習サポート事業はお子さんの学習に役立っている。 | 12.6% | 46.6% | 31.0% | 9.8% | 59.2% |
| 5 | 学校は、積極的にいじめ防止や早期解消の取組を行っている。 | 22.5% | 58.4% | 16.2% | 2.9% | 80.9% |
| 6 | 教員は、生徒の話を聞いたり、悩みに答えたりなど、相談にしっかり対応している。 | 44.2% | 40.7% | 13.4% | 1.7% | 84.9% |
| 7 | お子さんは、あいさつや場に応じた言葉づかいをしている。 | 38.9% | 53.7% | 6.9% | 0.6% | 92.6% |
| 8 | お子さんは、校則や校外生活のきまりを守って規則正しい学校生活を送っている。 | 36.2% | 49.4% | 10.9% | 3.4% | 85.6% |
| 9 | 学校は、行事や生徒会活動を充実させ、生徒が意欲を持って生活できるようにしている。 | 38.3% | 48.6% | 13.1% | 0.0% | 86.9% |

| No. | 評価内容 | 評価割合 | | | | 良傾向 回答合計 |
|-----|---|-------|-------|-------|-------|-------------|
| | | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| 10 | お子さんは、部活動に参加することで、成長が感じられる。 (お子さんが入部しているご家庭が回答) | 58.7% | 31.6% | 6.5% | 3.2% | 90.3% |
| 11 | お子さんは、周囲とかかわりを持ち、よい人間関係をつくろうと意識している。 | 42.9% | 46.3% | 9.6% | 1.1% | 89.3% |
| 12 | お子さんは、家庭で新聞や本などの読書に取り組んでいる。 | 10.2% | 23.3% | 38.1% | 28.4% | 33.5% |
| 13 | お子さんは、SNS やゲーム、動画視聴をはじめとしたインターネット環境を使用する際、家庭でのルールを守っている。 | 22.3% | 47.4% | 22.3% | 8.0% | 69.7% |
| 14 | 「よくわかる三中校区小中一貫教育」や、学校だよりやホームページなどで発信される情報で、小中一貫教育の様子がわかる。 | 21.7% | 56.6% | 21.1% | 0.6% | 78.3% |
| 15 | 学校だよりや学級通信、学校ホームページやテトル、マチコミメールなどで学校の様子がわかる。 | 41.0% | 52.0% | 5.8% | 1.2% | 93.1% |

○保護者の皆様のご意見から

- ① 広報について、学校だよりはA3サイズで学校の出来事を詳細にお知らせしている・ホームページもスピード感ある更新に努めてきましたが、評価が低く、「伝わらない」などのご意見もいただきました。よりわかりやすい紙面・ホームページづくりに努めます。なお、4月よりホームページのURLを変更する予定です。また、学級通信のテトル配信を求める声が多く寄せられていますが、写真を使った記事が多いため、個人情報保護の観点（SNS等への2次利用防止等）から、行っていません。また写真についてですが、盗撮防止のため、職員に私物のスマホのカメラの使用を禁じ、学校備え付けのデジカメを使用しています。旅行的行事の様子を写真で速報していましたが、今後は行えません。
- ② 学校の学習サポート事業は、①AIドリル、②登録制で、月2回ペースで数学の学習をする「放課後学習会」、③テスト前の「放課後学習室開放」等が挙げられます。生徒アンケートでは「学校の学習サポート事業は自分の学習に役立っている」には83%の生徒が良傾向回答をしています。このギャップの原因を検討し、さらに効果的な学習サポート事業に努めます。
- ③ 家庭学習について、中学生になり計画的に取り組むようになったという声が多い一方で、「しなくなった」「宿題や課題を多くしてほしい」「宿題が少なく学力が上がらない」などの声も、7月のアンケート同様多くあります。中学生の発達段階にふさわしい家庭学習は「自分が興味を持っているもの・自分の目標を達成する上で必要なこと」に自主的に取り組むことです。義務教育を終えると「社会人として生きる資質・能力」を身につけることが大切です。中学校は「やれと言われたことだけをやる人」ではなく、「自分の目標のために、やるべきことを自分で考えて行動する人」を育てようとしています。今後も授業を通じて「家庭学習をしたくなる」動機づけを行い、キャリア教育との連動させることで、生徒自身が必要性を感じて家庭学習に取り組めるよう指導してまいります。ご家庭でも、自立に向けた励ましをお願いします。